

中学校 音楽科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P61～67

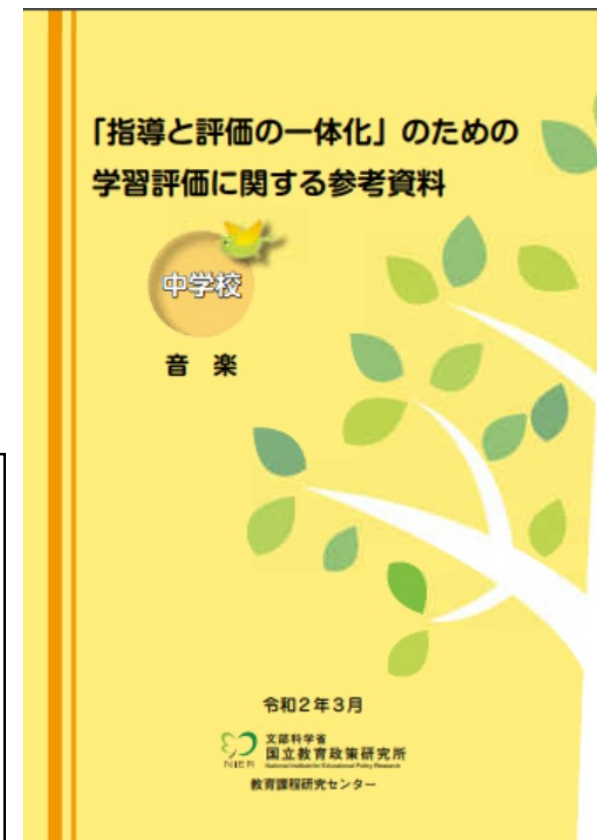
音楽科 事例2
キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

題材名
「楽器の音色の違いを感じ取り、三味線の特徴を理解して演奏しよう」(第2学年)

内容のまとめり
【第2学年及び第3学年】
「A表現」(2)器楽 及び【共通事項】(1)

1 題材の目標

- (1) 三味線の音色や響きと奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 三味線の音色や長唄の旋律(節回し)、リズム(間)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。
- (3) 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

2 題材の評価規準の設定

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 三味線の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p>思 三味線の音色や長唄の旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

第1時から第4時までの、本題材の学習活動への取組状況について、総括的に評価することとしている。(記録に残す評価としては第4時)

3 指導と評価の計画

時間	◎ねらい ○主な学習活動	評価規準(評価方法)			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	◎三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりについて知るとともに、三味線の音色や奏法への関心をもつ。 ○実際に音を出して試すなどして、三味線の音色への関心をもち、三味線の音色や響きと楽器の構造との関わりについて知る。			行動観察	
2	◎三味線の奏法を生かして、長唄「鳥羽絵」の一節を演奏しながら、音色や響きとの関わりについて理解する。 ○三味線の「スクイ」と「ハジキ」の奏法を身に付ける。 ○三味線の音色や響きとの関わりについて理解したことをまとめる。	知(観察) ワークシート		↓	
3	◎三味線の音色や奏法を生かして、長唄「鳥羽絵」の一節をどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ○長唄について知り、長唄の発声を体験する。 ○三味線の音色に気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近づけるためにはどのように演奏すればよいの追求し、思いや意図をもつ。		思(観察) ワークシート		
4	◎三味線の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、本題材の学習を振り返りながら学習活動に取り組むとともに、三味線の演奏に必要な技能を身に付ける。 ○長唄「鳥羽絵」の一節を演奏する。 ○題材の振り返りワークシート【毎時間の振り返り】を書く。	技(観察)			態(観察) ワークシート

4 各観点の評価規準作成のポイントについて～中学校編～

○知識・技能

- ・「技能」については、「B鑑賞」の題材では設定しない。
- ・授業の中で扱わないのであれば、表記しないこともある。（知識のみの内容等）

○「思考・判断・表現」

- ・【共通事項】アに関する内容は、その題材の学習において、生徒の思考・判断の、よりどころとなる要素を選択する。

何を学ぶのか

B基準が明確になる

○「主体的に学習に取り組む態度」

「評価の観点の趣旨」の内容を踏まえて作成する。

- ・「楽しみながら」の部分は、「主体的・協働的」に係る文言であり、「楽しみながら」取り組んでいるかを評価するものではない。
- ・文頭部分には、その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意志をもてるために必要となる、興味・関心をもたせたい事柄に関して記載する。

■ 主な学習活動と評価方法及び評価のポイント

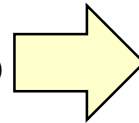
「おおむね満足できる」状況 **B**

	主な学習活動	評価のポイント
第1時	・実際に音を出して試すなどして三味線の音色を知覚・感受し、三味線の構造や奏法を知るとともに、体験をしながら三味線への関心をもつ。	三味線の音や奏法への関心をもつことができるようにする。
第2時	・互いに助言し合うなどしながら、長唄「鳥羽絵」の一説を演奏するために必要な基礎となる奏法を身に付け、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。	長唄「鳥羽絵」の一説を演奏するために必要な基礎となる奏法を、他者に助言したり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けようとして取り組んでいるか。
第3時	長唄にふさわしい演奏に近づけるためにはどのようにしたらよいかをグループで話し合うなどして、器楽表現を創意工夫する。	長唄にふさわしい器楽表現にしようと、グループで話し合っていて工夫しているか。
第4時	三味線の演奏に必要な技能を身に付け、「ぬらりくらり」の部分をグループ同士で互いに演奏し合う。	「三味線らしい音色で、長唄の雰囲気表現できているか」の観点で、自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりしているか。

6 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

自己調整しようとしているか

教師はグループ活動の場面において必要な指導をし、個々の生徒の状況を観察する。しかし、すべての生徒の状況を観察のみで把握することは難しい。



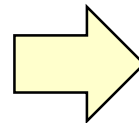
生徒の毎時間の振り返り(ワークシート)

自己評価の結果がそのまま学習評価に結び付くものではない。

- ・生徒が自らの状況を適正に捉えることができるか。
- ・よかった点や改善点などに気付いているか。
- ・次の学習に見通しをもっているか。

粘り強く取り組んでいるか

すべての生徒が粘り強く取り組んでいるかどうかを観察して見とる。



教師用チェックリスト

参考資料P65参照



「努力を要する」(C)状況と判断される場合は、適切な指導・助言をあたえ、その後生徒が自己調整しようとしている姿が見られるように導く。

7 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

教師用チェックリストと、毎時間の振り返りから「おおむね満足できる」状況(B)と判断できる例

2、3時後のチェックリスト内容

	取組状況	
	粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子
生徒 14		△
生徒 15	ややあきらめがち	
生徒 16	○	△

生徒14の振り返りにおいて、振り返りの内容から、【粘り強く取り組んでいる様子】は「おおむね満足できる」(B)と評価した。→空欄

【自己調整しようとしている様子】は「観察だけでは判断が不十分」であったので、第4時の振り返り内容を見とることとした。

生徒 14 のワークシート【毎時間の振り返り】

【毎時間の振り返り】 次の点について、毎時間の自分の学習を振り返ってみましょう。
(評価の日数) できた…4 どちらかといえばできた…3 どちらかといえばできなかった…2 できなかった…1

	本題材の学習の振り返り	評価	評価の理由
第1時	三味線の音色や奏法に関心をもち、音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知ることができましたか。	2	三味線を実際にさわってみたのは楽しく積極的に取り組めたけど、音色と奏法の関係についてはよく分かっていなかった。最初、スワイプできなかったけど、友達のアドバイスでうまくできるようになり、めろりくろも大体弾けた。はちの使い方が三味線らしい音になることがわかった。
第2時	演奏に必要な奏法を生かして、三味線の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができましたか。	3	模範演奏を何度も聴きながら、友達と熱心に話し合っ、間の取り方などを工夫することができたから。
第3時	三味線の音色や奏法を生かして、長唄『鳥羽絵』の一節の表現を工夫することができましたか。	4	グループ同士で演奏するときには、ちゃんと緊張して間違えたりしたけど、三味線のいろいろな音色が奏法の違いで生まれることが分かった。三味線に興味が出てきたから。

よくわからない状態

三味線らしい音を感じることができた状態

奏法の特徴を理解し、自己調整ができている状態

理解できたことや、興味が高まったことなどを書いており、自らの状況を適正に捉えられていることから、「おおむね満足できる」(B)と評価できる。

8 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

教師用チェックリストと、毎時間の振り返りから「十分満足できる」状況(A)と判断できる例

2、3時後のチェックリスト内容

	取組状況	
	粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子
生徒 14		△
生徒 15	ややあきらめがち	
生徒 16	○	△

生徒16の振り返りにおいて、振り返りの内容から、【粘り強く取り組んでいる様子】は「十分満足できる」と評価した。→○

【自己調整しようとしている様子】は「観察だけでは判断が不十分」であったので、毎時間の振り返り内容を見とることとした。

生徒 16 のワークシート【毎時間の振り返り】

【毎時間の振り返り】次の点について、毎時間の自分の学習を振り返ってみましょう。

(評価の目安) できた…4 どちらかといえばできた…3 どちらかといえばできなかった…2 できなかった…1

	本題材の学習の振り返り	評価	評価の理由 よかった点やできなかった点、改善点や次への見通しなどを書きましょう。
第1時	三味線の音色や奏法に関心をもち、音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知ることができましたか。	4	三味線らしい音色の秘密はサワリという部分が関係していることが分かったから。次の時間から三味線を弾くのが楽しみたい。
第2時	演奏に必要な奏法を生かして、三味線の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができましたか。	3	ばちの裏のところでしっかり止めたほうが、力強く三味線らしい音に響くことがわかった。スクイヤーパズルを使うと響きが変わったので、次回は奏法の違いをもっと意識して、三味線らしい音で演奏したい。
第3時	三味線の音色や奏法を生かして、長唄『鳥羽絵』の一節の表現を工夫することができましたか。	3	独特のリズムだったから難しいけれど、三味線と歌の旋律が似ているので一体感が出せたら模範演奏を参考に、三味線と歌を同じくらい大きくて演奏することで、さらに一体感が出せるようにしたい。
第4時	三味線の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、演奏に必要な技能を身に付けて、長唄『鳥羽絵』の一節を演奏する活動に進んで取り組むことができましたか。	4	グループ同士での演奏がうまくでき、工夫がうまく伝わったから。演奏してみたら、三味線の弾き方で雰囲気が変わると思った。三味線から出る日本らしい音は響きがあると感じる事ができた。

毎回の振り返りで自らの改善点や次への見通しなどを適切に書いている。
→「十分満足できる」状況(A)と判断した。